

# 当初予算が決まりました

「菊池市第二次総合計画後期基本計画」のスタートの年です。前期基本計画から見えてきた成果と課題についての検証結果を生かし、健全な財政運営に配慮した予算編成を行いました。

◎ 財政課 ☎ 0968(25)7202

本市の財政は、熊本地震の影響で大変厳しい状況が見込まれます。平成28年度決算では、合併後初めて財政調整基金(約13億円)を取り崩しました。平成29年度も熊本地震の影響が継続しています。今後は超高齢社会となっていくため、扶助費など経常経費が増加。庁舎や生涯学習センター整備事業など、大規模事業の財源として借入れた合併特例事業債などにより、公債費も増加します。

## 予算の概要

本年度は、熊本地震の被災者の生活再建に向けた支援を第一に「安心・安全の癒しの里」づくり

組みを強化します。

子どもの健やかな育ちを支援していくために、乳幼児健診や交流の拠点として、母子等保健センターを整備します。

### ④ 自然の恵みを守る安全なまちづくり(自然環境と安全)

「菊池桜千年プロジェクト」による日本一の桜の里づくりを推進します。景観計画に基づき保全すべき重要な地域を景観形成重点地区として、新たな支援を行います。

### ⑤ 快適で便利に暮らせる基盤づくり(都市基盤と生活基盤)

自然や歴史・文化を感じられる景観や空間を生かし、温泉街と市街地回遊の拠点となるよう市民広場の再整備を進めます。

森まちプロジェクトにより、ガーデンングコンテストや花壇づくり講習会などを開催し、花いっぱいのもちづくりを推進します。

### ⑥ 開かれた市政と行財政の効率化(政策推進)

公共施設は、利用状況や社会状況などを踏まえ、将来的に維持可能な施設計画を推進します。ICTによる効率的で効果的な行政運営に取り組み、合理化・迅速化を進め、市民サービスの質を向上します。

に引き続き取り組みます。主な施策は、「菊池市第二次総合計画後期基本計画」の6つの項目に沿って整理しています。

### ① 豊富な資源を活用する元気な産業づくり(産業と経済)

創造的復興のシンボルとなる溪谷館の建て替えをはじめとした溪谷内の整備に取り組みます。特色ある飲食店の立地を促進するグルメ戦略では、創業融資制度を創設して開業を支援し、安定経営に向けたバックアップ体制を強化します。

### ② 学び合いと地域が育む人づくり(教育と文化)

経済的に厳しい状況の子どもの進学を後押しするため、給付型奨学金制度を創設します。学習習慣が十分でない生徒に対する学習支援として、地域と学校が連携協働して子どもたちの成長を支え地域を創生する「地域未来塾」を、市内全ての中学校に拡大します。

③ みんなで支え合う生涯にわたる安心づくり(保健と福祉)  
「健康づくり都市宣言」の下、市民と行政、事業所が互いに協力・連携し、市民の健康づくりに取り組みます。各種健診の受診率を向上し、生活習慣病予防・重症化予防の取り組みを強化します。

## 予算の規模

一般会計予算は、平成29年度(骨格+肉付)と比べて2.3%減の292億9800万円です。

### ● 歳入

貴重な自主財源である市税は、8.9%の増収を見込みましたが、少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少が推測されることから、永続的な増収の見込めない状況です。

国・県などの特定財源と地方交付税などを加えても不足する財源は、将来の健全な財政運営を検証し、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債7億6000万円の発行と、財政調整基金を25億6000万円取り崩すことにし

### ● 歳出

主な事業としては、平成27年度からの継続事業で実施している庁舎整備建設事業(約1億8500万円)、市民広場再整備事業(約5億1200万円)、産地パワーアップ事業(約5億5千万円)、企業誘致等推進事業(約6億6800万円)、北岸線道路改良事業(約2億3700万円)、七城総合グラウンド整備事業(1億4300万円)などがあります。

ホームページに分かりやすい「市民向け予算説明書」を掲載していますのでご覧ください。予算書は財政課で閲覧できます。



- ### 歳入
- **自主財源** 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの
  - **依存財源** 国や県の意思決定に基づき収入されるもの
  - **市税** 市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
  - **その他** 分担金、負担金、使用料、手数料、繰越金、諸収入など
  - **地方交付税** 地域ごとの状況の違いを調整するため国税の一部から交付されるお金
  - **国庫・県支出金** 特定事業に対し国・県から使いみちを指定して交付されるお金
  - **繰入金** 基金から一般会計に組み入れるお金
  - **市債** 長期間利用される市の施設をつくるためなどに借り入れるお金

- ### 歳出
- **義務的経費** 人件費、扶助費、公債費を合わせた、毎年必ず支出が必要となる費用
  - **人件費** 職員の給料や退職金などの費用
  - **扶助費** 保育所の運営、生活保護、子どものための手当て、医療費の援助などの費用
  - **公債費** 過去の借入金に要する返済のための費用
  - **普通建設事業費** 道路工事や施設などを建設する事業に要する費用
  - **物件費** 消耗品や備品などに要する経費、委託料、光熱水費など
  - **補助費等** 公益的な事業などに対しての補助金や負担金など
  - **繰出金** 一般会計から特別会計などに支出する経費

グラフで見る本年度の予算

右の円グラフは「歳入」「歳出(目的別・性質別)」を表しています。

